

平成 14 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 日 伝
代表者の
役 職 名 取締役社長 西 木 利 彦
(登録銘柄 コード番号 9 9 0 2)
問合せ先 常 務 取 締 役
総 務 本 部 長 西 木 利 博
電話番号 (0 6) 6 7 4 6 - 5 7 0 0

平成 1 5 年 3 月 期 第 1 四半期の事業の進捗状況について

当社の平成 1 5 年 3 月 期 第 1 四半期 (平成 14 年 4 月 1 日から平成 14 年 6 月 30 日まで) における事業の進捗状況について、お知らせいたします。

なお、本書面は第 1 四半期における業績の速報であることから、本通知に記載された財務諸表等の一部には正規の決算手続きを経ていないものが含まれており、これらに対する監査法人の監査は受けておりません。

1 . 四半期の事業の進捗状況

(1) はじめに

当第 1 四半期におけるわが国経済の状況は、7 月 11 日に発表されました政府の月例経済報告「景気は依然厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる」に表現されましたとおり、設備投資は減少しているものの、アジア向けを中心に輸出は大幅に増加しており、生産は持ち直しの動きがみられ、先行きについて下げ止まる兆しもみられます。

当社を取り巻く機械器具業界におきましては、設備投資は引き続き低迷を続け、在庫調整は一巡したものの、生産活動、物流活動に力強さは見られないなか、デフレ不況による価格競争の激化が企業収益を圧迫し、依然厳しい状況が続いております。

このような厳しい状況のもとで、当社といたしましては「過去の創造的破壊と未来への挑戦」をスローガンに掲げ、短期的な課題と中長期的な課題を認識した上で、短期的な課題として、取引先との緊密な関係の維持、クロスセリングの強化、個性的な日伝を築くための人材育成に取り組み、メカニカルパーツの専門商社として、仕入先、得意先をはじめとするすべてのステークホルダーとの「対話と信頼」を重視し、ニューモデルマンとしての存在価値を確立してまいります。中長期的な課題として、環境変化を先取りし、新しいビジネスモデルを創造し、自ら市場機会を作り出し、社内体制の見直しとともに戦略事業領域の強化拡大に取り組んでまいります。

(2) 業績の概況

当第 1 四半期におきましては、売上高 1 4 3 億円 (対前期比 1 2 . 1 % 減少)、営業利益 3 億 8 千 1 百万円 (対前期比 4 3 . 4 % 減少)、経常利益 5 億円 (対前期比 3 5 . 0 % 減少) と減収減益となりました。

2. 営業収益の状況

(単位：百万円未満切捨て)

四半期別 品目別	当第1四半期 〔自 平成14年4月 1日〕 〔至 平成14年6月30日〕		前第1四半期 〔自 平成13年4月 1日〕 〔至 平成13年6月30日〕		増 減	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	金 額	増減率 %
動力伝導機器	6,817	47.7	7,517	46.2	699	9.3
産業機器	3,168	22.1	3,742	23.0	574	15.4
制御機器	4,314	30.2	5,015	30.8	700	14.0
合 計	14,300	100.0	16,275	100.0	1,974	12.1

(品目別概況)

・動力伝導機器

軸受けなどの半導体製造装置関連に下げ止まり感がみられ、全体に順調に推移し、当第1四半期の売上高は68億1千7百万円(対前期比 9.3%減少)となり、構成比では前年同期比1.5ポイント上昇し、47.7%と高まりました。

・産業機器

国内生産需要の不透明感により、コンベア関連など新規の大型設備投資は抑制され、当第1四半期の売上高は31億6千8百万円(対前期比 15.4%減少)となりました。

・制御機器

電気、電子部品などの新規生産設備の機械部品は比較的安定した実績を上げることができましたが、生産設備の油圧、空圧機器が不調であったため、当第1四半期の売上高は43億1千4百万円(対前期比 14.0%減少)となりました。

3. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第1四半期 (平成14年6月30日)		前第1四半期 (平成13年6月30日)		増 減 (は 減) 金 額
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	
(資産の部)					
流動資産	32,465	72.8	31,574	68.8	891
現金及び預金	9,434		8,545		888
受取手形・売掛金	18,432		19,266		834
有価証券	1,566		514		1,051
商標	2,981		2,980		1
その他の	50		267		216
固定資産	12,149	27.2	14,330	31.2	2,180
有形固定資産	7,604		7,054		550
無形固定資産	87		47		39
投資	4,457		7,228		2,770
資産合計	44,615	100.0	45,904	100.0	1,289
(負債の部)					
流動負債	7,837	17.6	9,597	20.9	1,759
支払手形・買掛金	7,094		8,391		1,296
未払法人税等	181		117		64
その他の	560		1,088		527
固定負債	897	2.0	957	2.1	59
退職給付引当金	437		468		31
繰延税金負債	152		214		62
その他の	307		274		33
負債合計	8,735	19.6	10,555	23.0	1,819
(資本の部)					
資本金	5,368	12.0	5,368	11.7	0
資本剰余金	6,283	14.1	6,283	13.7	0
利益剰余金	23,967	53.7	23,309	50.8	658
その他有価証券評価差額金	267	0.6	388	0.8	120
自己株式	7	-	-	-	7
資本合計	35,879	80.4	35,349	77.0	530
負債・資本合計	44,615	100.0	45,904	100.0	1,289

(2) 損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第1四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年6月30日〕		前第1四半期 〔自平成13年4月1日 至平成13年6月30日〕		増 減 (は 減) 金 額
	金 額	百分比 %	金 額	百分比 %	
売上高	14,300	100.0	16,275	100.0	1,974
売上原価	12,258	85.7	13,845	85.1	1,587
【売上総利益】	2,041	14.3	2,429	14.9	387
販売費及び一般管理費	1,660	11.6	1,755	10.8	95
【営業利益】	381	2.7	674	4.1	292
営業外収益	141	1.0	118	0.7	23
営業外費用	22	0.2	22	0.1	0
【経常利益】	500	3.5	770	4.7	269

(3) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	四半期別		増 減 (増 は 減)
	当第1四半期 〔自 平成14年4月 1日 至 平成14年6月30日〕	前第1四半期 〔自 平成13年4月 1日 至 平成13年6月30日〕	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益	500	657	156
減価償却費	53	48	4
ゴルフ会員権評価損	-	4	4
有価証券評価損	-	106	106
貸倒引当金の増加額又は減少額 ()	11	13	24
賞与引当金の増加額又は減少額 ()	156	274	118
退職給付引当金の増加額又は減少額 ()	11	8	2
前払年金費用の増加額 () 又は減少額	0	17	17
役員退職慰労引当金の増加額又は減少額 ()	4	129	134
受取利息及び配当金	22	30	8
その他の損益調整額	0	1	0
売上債権の増加額 () 又は減少額	206	1,745	1,951
たな卸資産の増加額 () 又は減少額	171	221	392
その他の資産の増加額 () 又は減少額	20	34	14
仕入債務の増加額又は減少額 ()	286	1,107	820
その他の負債の増加額又は減少額 ()	75	74	1
役員賞与支払額	40	60	20
小計	225	1,252	1,478
利息及び配当金の受取額	21	30	9
法人税等の支払額	211	1,198	986
営業活動によるキャッシュ・フロー	416	85	501
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	146	3	143
投資有価証券の取得による支出	5	5	0
投資有価証券の売却による収入	100	-	100
貸付による支出	-	0	0
貸付金の回収による収入	2	2	0
その他の投資活動による支出	0	13	13
その他の投資活動の回収による収入	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	49	20	28
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	0	0	0
配当金の支払額	306	318	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	306	319	12
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増加額	772	253	519
現金及び現金同等物の期首残高	10,206	8,799	1,407
現金及び現金同等物の期末残高	9,434	8,545	888